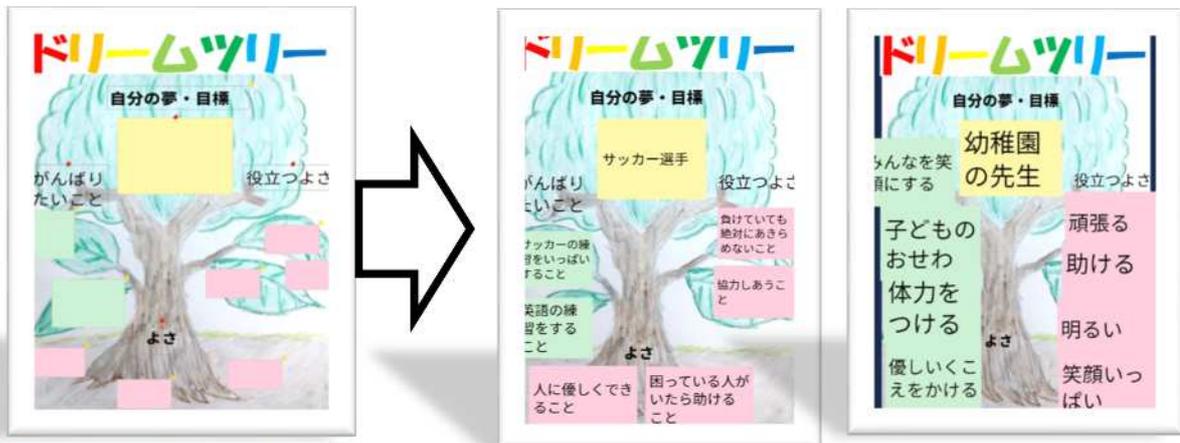


【題材名】 4学年学級活動「夢に向かって」
 【内容】 ロイロノートを活用し、自分だけのドリームツリーを作成する。
 【使用アプリ】 ロイロノート
 【事例紹介】 児童の中には将来なりたいものが見えている児童もいるが、そのためにはどんな力が必要かということを感じているものは少なかった。そこで今回はキャリア教育としてロイロノートでドリームツリーを作成した。

自分は将来どうなりたいのか（黄色）、今持っている良さはどんなところか（ピンク）、それらを踏まえてどういう力をこれから伸ばしていきたいのか（緑）ということ、児童同士で話し合いながら考え、カードに記入してドリームツリーを完成させる。世界に一つの自分だけのドリームツリーができ、児童は「自分の夢のためにすることが見つかった」と話してくれた。

ロイロノートでは、カードの枚数や大きさを自由に変更できたり、友達とカードを送り合ったりできるので、意見交換の際のツールとしても活用できる。また、児童が作っているツリーの途中経過を紹介することも容易で、大型提示装置で児童のツリーを提示すればいい。



【大型提示装置に投影し説明】

完成したツリーはプリントアウトして教室掲示に活用する。学校生活をより豊かなものにするために、また将来の夢に近づくために、今の自分が考えた頑張りたいことを、意欲的に取り組んでいけるように役立てていきたい。

今回は4年生の授業で行ったが、内容を簡単に変更することで様々な学年で使用することができる教材だと考える。

（教育委員会主幹講評）小学校では先生方のアイディアでロイロノートの活用の幅が大きく広がってきています。今回の報告は「ドリームツリー」のスライドを教師が作成しておき、それに付箋に記入したそれぞれの内容を張り付け、自分のツリーを完済させる。児童同士の話し合い活動からも、自分が気づかなかった良さなどにも気づくことができたのではないのでしょうか。カラー印刷して学級掲示にする効果も大きいそうです。できればロイロノートの資料箱で、使用した教材の共有をお願いいたします。